

第62回

# 全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫

2025年10月2日(木)・3日(金)

現地開催とオンデマンド配信を組み合わせた  
**ハイブリッド開催**

大会スローガン

**その行動は大丈夫 一度止まって再確認 仲間意識で声掛け励行**



**自然災害部会、阪神・淡路大震災企画展**を開催します



震災直後 出典:阪神高速道路側

**入場無料**

## 阪神・淡路大震災企画展

10月2日(木)10:30~17:00  
3日(金) 8:30~15:30

神戸国際展示場  
2号館エントランス

**総合集会** 10月2日(木) **ワールド記念ホール** 開場 10:30/開会 13:15

・特別講演・

『**阪神・淡路大震災30年 若い世代にどう語り継ぐのか**』

大阪芸術大学 放送学科 教授/元NHKアナウンサー **住田 功一** 氏

**専門部会** 10月3日(金) **神戸国際展示場1・2号館** 開場 8:45/開会 9:00

・自然災害部会・

『**私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか**』

—災害時にトップがなすべきこと—

(一社)豊岡アートアクション 理事長/元兵庫県豊岡市長 **中貝 宗治** 氏

基調講演  
講演

『**阪神高速道路の耐震・防災・減災の取組み**』

~つないでいく1.17~

阪神高速道路(株) 常務執行役員 **谷田 豊** 氏

参加費 / 1名 10,000円(税込)

大会の資料は、全国大会HPからの**ダウンロード形式**となります。詳細は、**本書5頁**をご確認下さい。  
なお、全国大会HPIは9月24日(予定)からオープンとなります。



**同時開催・入場無料**

**安全衛生保護具・測定機器・安全標識等**

## 展示会

安全体感コーナーを同時開催

10月2日(木) 10:30~17:00  
3日(金) 8:30~15:30

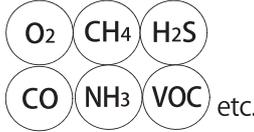
神戸国際展示場 3号館

# 酸欠・ガス爆発 / 中毒 事故防止に!

## 最大 6 種類のガスを同時検知可能

- 搭載センサの組合せ約 1000 通り
- センサ保証 3 年 ※一部センサを除く
- 多言語表示, 可燃性ガス読替機能
- 防爆・防塵防水 (IP66/68 相当) 構造
- Bluetooth 搭載! スマホで簡単データ管理

検知対象ガス



↑詳しくはこちら!



**理研計器株式会社**

本社 〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6  
TEL 0570-001939 (代) <https://www.rikenkeiki.co.jp/>

携帯型マルチガス検知器

Model : **GX-9000** SERIES

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、理研計器株式会社はライセンス許諾を受けて使用しています。

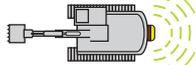
作業員に重機への接近を音声で警告して接触事故を防ぐ

## セフティアラート **NEW**



**398-05**

サイズ: W200×D82×H120mm  
材 質: ABS樹脂



作業員の接近を  
センサーで感知して  
音声で警告



- 人感センサーで重機への接近を大音量の音声などでお知らせ (最大 90db 以上)
- 音声は 2 種類を録音・再生できます。
- 乾電池で駆動するので面倒な配線は不要です。
- 背面の強力マグネットで簡単に取付けできます。
- JIS 保護等級の IP55 相当に準拠した防水・防じん性能を有しています。(当社社内試験による測定)

カタログのご請求・最寄りの代理店については、下記フリーダイヤルにてお問い合わせ下さい。



安全と快適環境をトータルでコーディネートする ● 営業所 / 〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-3-20  
TEL 0120-490336 FAX 0120-490173  
E-mailでも承ります。sien@unit-signs.co.jp

**UNIT ユニット株式会社**

● 営業所 / 第2: 城北・城南・城東・札幌・盛岡・仙台・郡山・北陸・群馬・茨城・埼玉・千葉・西東京・横浜・平塚・静岡・京都・大阪北・大阪南・神戸・広島・福岡  
仙台工場設置取得



石綿対策を  
トータルサポート!

「石綿処理機材  
マニュアル」  
をご用意しています。

## 小型・軽量 集じん・排気装置 **AZCUBE 360**



本体重量  
約 **16kg**

軽さと  
コンパクトさを  
重視した設計!

上部は便利な取っ手付き!

外寸(mm): 473 (高さ) × 370 (幅) × 560 (奥行)

デュボン™タイベック  
ソフトウェアⅢ型

JIS T 8115 : 2015  
タイプ 4, 5, 6 適合  
タイプ 5 :  
浮遊固体粉じん  
防護用密閉服



デュボン、タイベック、ソフトウェアⅢは米国デュボン社の関連会社の商標又は登録商標です。

**アゼアス株式会社** <https://www.azearth.co.jp>

本社 〒111-8623 東京都台東区蔵前 4-13-7  
TEL. 03-3861-3537 / FAX. 03-3861-2485



最軽量の新型常時巻取式ランヤード

イージーリトラ  
**EZRITRA**

動きやすく快適な作業を可能にした  
フラッグシップフルハーネス

**ZERO G** ゼロ G ハーネス  
GOOD DESIGN

墜落制止器具の規格適合品 / フルハーネス型

**TSUYORON**

公式サイト Youtube Instagram



商品についてのお問い合わせは  
TEL.0795-48-3851 (営業部)  
9:00~17:00 / 月~金 (弊社指定休業日は除く)

Safety is Love  
**FUJII-DENKO**

〒679-0295 兵庫県加東市上滝野 1573-2

# 第62回全国建設業労働災害防止大会(兵庫大会)のご案内

本年度の第62回全国建設業労働災害防止大会は、兵庫県神戸市にて開催いたします。

大会初日の10月2日(木)は「ワールド記念ホール」において、建設業における安全衛生活動に顕著な功勞・功績のあった方々や優秀な安全衛生成績をあげられた事業場等に対する表彰、労働災害防止のために優秀な発明・考案等をされた方を対象とした顕彰、安全の誓いの採択、特別講演等を行う「総合集会」を開催します。

2日目の10月3日(金)は「神戸国際展示場」において、会員企業等による安全衛生等に関する研究発表を行うとともに行政担当官より労働災害防止対策、通達、方針等の情報を提供する「専門部会」を開催します。本年は建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、コスモス部会のほか、本年は「阪神・淡路大震災」発生から30年目にあたり、また近年地震や集中豪雨の災害が多発していることから、建設業界の自然災害への対応に特化した「自然災害部会」を新たに設置し、さらには、写真や動画を用いて、震災発生直後と復興後の状況を比較展示するなど、建設業の社会貢献を紹介する「阪神・淡路大震災企画展」を開催します。

また、本大会と併せて、最新の安全衛生保護具・測定機器・安全標識等を多数とりそろえた「安全衛生保護具等展示会」を両日、開催します。

## 開催日時・開催会場

プログラム	開催日時	会場
総合集会	10/2(木) 13:15～	ワールド記念ホール
建築部会	10/3(金) 9:00～	神戸国際展示場1号館2階 展示室A
土木部会	10/3(金) 9:00～	神戸国際展示場1号館2階 展示室B
安全衛生教育部会	10/3(金) 9:00～	神戸国際展示場2号館1階コンベンションホール南
低層住宅部会	10/3(金) 9:00～	神戸国際展示場2号館3階 3A会議室
コスモス部会	10/3(金) 9:00～	神戸国際展示場2号館1階コンベンションホール北
自然災害部会	10/3(金) 12:50～	
阪神・淡路大震災企画展	10/2(木) 10:30～	神戸国際展示場2号館エントランス
	10/3(金) 8:30～	
安全衛生保護具等展示会	10/2(木) 10:30～	神戸国際展示場3号館
	10/3(金) 8:30～	

## 阪神・淡路大震災企画展の開催

10月2日(木)・・・ 10:30～17:00

神戸国際展示場2号館エントランス

10月3日(金)・・・ 8:30～15:30

本年は、「阪神・淡路大震災」から30年目にあたり、また近年、大きな地震や台風等の自然災害が多発していますが、建設業界は、被災地での道路啓開やライフラインの確保、仮設住宅の設置や復旧・復興工事等において重要な役割を担っています。

同企画展では、写真や動画を用いて、震災発生直後と復旧後の状況を比較し、建設業界の社会貢献・活動をPRします。

**主催** 建設業労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会兵庫県支部

**開催主協力支部** 建設業労働災害防止協会滋賀県支部、京都府支部、大阪府支部、奈良県支部、和歌山県支部

**後援** 厚生労働省、国土交通省、兵庫県、神戸市、兵庫労働局

**協賛** 一般社団法人全国建設業協会、中央労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会

**協力** 一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人建設産業専門団体連合会

# 総合集会プログラム

初日 10月2日(木) ワールド記念ホール

10:30	開 場	
13:15	開 会	
	黙 禱	
	挨 拶	建設業労働災害防止協会 会長
	来賓挨拶	厚生労働大臣 国土交通大臣 兵庫県知事 神戸市長
	歓迎のことは	大会実行委員長 建設業労働災害防止協会 兵庫県支部長
13:50	安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰	
14:10	安全の誓い	大会副実行委員長
14:15	講 演	「労働安全衛生行政の動向について」(仮題) 厚生労働省 労働基準局
14:35	アトラクション	神戸華僑總會 舞獅隊
15:00	休 憩	
15:20	特別講演	「阪神・淡路大震災30年 若い世代にどう語り継ぐのか」 大阪芸術大学 放送学科 教授/元NHKアナウンサー 住田 功一
16:30	閉 会	

※プログラムは一部変更になる場合があります。

## 参加券申込みのご案内

### 申 込 方 法

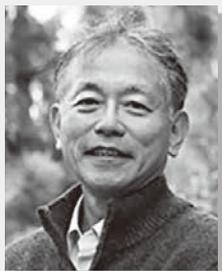
参加券の購入は、全国大会ホームページの「参加券購入はこちら」をご確認ください。

参加費は、おひとり様10,000円(税込)です。参加券は、**初日参加券・2日目参加券**がセットになっております。

全国大会  
ホームページ▶▶▶▶▶



## 特別講演 講演者紹介



『阪神・淡路大震災30年 若い世代にどう語り継ぐのか』

大阪芸術大学 放送学科 教授／

元NHKアナウンサー すみだ こういち 住田 功一 氏

1960年兵庫県神戸市生まれ、1983年NHK入局、「生活ほっとモーニング」、「おはよう日本」他多数のキャスターを務める。

2012年から「ラジオ深夜便」アンカーを担当、NHK連続テレビ小説「おむすび」のアンウンサー役に声優として出演。

2020年NHKを退職し大阪芸術大学放送学科教授に就任し、後進の指導に当たる。

1995年1月17日の阪神・淡路大震災発生当時、たまたま神戸市の実家に帰省していた同氏が地震発生から18分後、他局に先駆けて阪神・淡路大震災発生第一報を全国に伝えた。

報道リポーターの経験をもとにした著書「語り継ぎたい、命の尊さ阪神・淡路大震災ノート」を出版、自身が遭遇した生死を分けた経験、阪神・淡路大震災を後世に伝えることをライフワークとしている。

## アトラクション紹介

### 神戸華僑總會 舞獅隊 (こうべかきょうそうかい ぶしたい)

1979年、神戸在住の華僑青年が中心となって結成され、今年で46年を迎え、現在は、主に華僑の結婚式や催し物、芸能・文化交流等の各種イベントに出演し、華僑社会の一員として内外の役割を担う組織であることを理念に、日夜鍛錬に親交を勤しむ神戸で最も古株の『老舗的演舞集団』です。また、近年は視野を世界に広げ、2020年には、シンガポールで開催されたオンラインでの世界大会、昨年と今年は香港で開催された世界大会に2年連続で日本代表として出場。

今回、ご覧頂きます獅子舞は、中国南方系の南獅なんすーです。南獅というのは、カンフーの練習種目の一つでもあるように、見得のきり方や足の運び等にその特色が伺われ、香港映画などでもよく見られますように、街中や人ごみの中で舞う庶民密着のイメージが強い獅子舞です。

舞の途中で獅子に噛まれますと『無病息災・商売繁盛』等といった験を担ぐ、祝い事には欠かせないおめでたい舞とも言われています。



# 第62回全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫

安全衛生保護具・  
測定機器・安全標識等

# 展示会

2025年 10月2日(木) 10:30~17:00  
3日(金) 8:30~15:30  
神戸国際展示場3号館



出展企業	主な取扱い品目
あさかわシステムズ(株)	安全協力会に特化した協力会社管理クラウドサービス「管兵衛」
アサヒ産業(株)	次世代足場&支保工「ミレニウム」、法面構台「MN NORIMAX」、ポリエステル製硬化網材「マルチGRID」
アゼアス(株)	化学防護服、集じん・排気装置等
(株)アドバンス	熱中症対策 O.R.Sタブレット
アトム(株)	耐切削手袋、防振手袋、緩衝手袋
(株)穴吹カレッジサービス	施工管理システム「かん助」で安全管理～入退場管理・KY活動・遮断現場・安全パトロール～
(株)エレメント・プランニング	ポスター、シール、小冊子
大塚製薬(株)	ポカリスエット・Vivoo
オンヨネ(株)	腰痛対策 体幹サポートウェア「吐力ベスト」 <a href="https://www.onyone.co.jp/working/harajikaravest/">https://www.onyone.co.jp/working/harajikaravest/</a>
(株)ガステック	検知管式気体測定器、各種ガス警報計
(株)キップウェイ	管理ダッシュボード「XrossView」(クロスビュー) 現場の「今」が、ひと目でわかる。現場データを横断的に可視化。
(株)基陽	墜落制止用器具(フルハーネス・ランヤード等)
(株)グリーンクロス	大型土のうり器具「オート掘りバー」、電動一輪車「E-cat kit2」、Bluetoothインカム「Bb TALKIN」、クロスステック 同歩・双方向流動式ローラー点検・業初IP65「蓄電池」その他
(株)建設安全研究会	安全教育用教材(DVD・ストーリーミング配信)
興研(株)	防じんマスク、電動ファン付き呼吸用保護具、防毒マスク、暑熱対策商品
光明理化学工業(株)	・ポータブル測定器・検知管及びポンプ(ガス採取器、エアサンプリングポンプ)・気流検査器及びオプション品
サンコー(株)	・墜落制止用器具(フルハーネス型・胴ベルト型・関連器具) ・墜落防止機器(セイフティブロック)
ジー・オー・ピー(株)	アルミ台車、アルミ製差解消スロープ、移動式室内足場、軽量作業台、他
(株)重松製作所	防じん・防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具、化学防護手袋・耐切削手袋、保護めがね等
(株)シモン	安全靴・ワークグローブ・労働安全衛生保護具
新コスモス電機(株)	ガス検知器
スリーエム ジャパン(株)	墜落防止用品(フルハーネス・ランヤード・アンカー類)・呼吸用保護具・保護めがね/ゴグル・防音保護具・化学防護服・自動遮光浴衣など
セーファー(株)	クラウドカメラ
(株)仙台銘板	無線式探線・構造物検知LiDARセンサーはる移動式サイネージ 移動式デジタルサイネージ/パルチエ空調機/クロスファン、構造物接近センサー
SORABITO(株)	「GENBAX点検」建設機械の始業前点検、設備や足場、作業員の健康チェックなどあらゆる点検表をペーパーレス化!
大栄産業(株)	スーパーセイフティークランプ「ZERO炎」、超微粒子光触媒「Hikarium」
(株)谷沢製作所	保護帽、墜落制止用器具、ウェアラブル機器 等
(株)つくし工房	法改正に伴う各種安全標識類・重機接触防止装置・MR(複合現実)による安全教育ツール
(株)積木製作	VRでの安全教育システム

出展企業	主な取扱い品目
鶴賀電機(株)	暑さ指数測定器
(株)東京BK足場	低層住宅の足場倒壊防止対策と墜落防止対策のための「スライドレール安全ブロック工法」・「固定スライドレール安全ブロック工法」・「スライドレール安全帯工法」等
(株)ナカオ	作業台・脚立・はしご・台車・その他アルミ製品
日本カノマックス(株)	粉じん計、マスクフィットテスター
(株)日本コンサルタントグループ	安全衛生教育プログラム(eラーニング)・14カ国語対応、スマホで受講できる
日本スピードショア(株)	土砂遮断装置「スピードガード」、水圧式スプリング内蔵四方張り土留「マンホール土留」など
長谷川工業(株)	アルミ作業台、アルミ脚立、高所作業台、アルミ台車、可搬式作業台
(株)ハタヤリミテッド	コードリール、照明器具
(株)ピカ コーポレイション	アルミ仮設機材、可搬式作業台、親綱支柱、台車、昇降作業台等
藤井電工(株)	墜落制止用器具及び墜落防止器具
(株)ブロップ	熱中症対策製品、墜落制止用器具、人体用エアバッグ
みぞた巧芸(株)	社旗、安全旗、腕章、タレ幕、ヨコ幕、標識、シート看板、陶器
ミドリ安全(株)	安全衛生保護具、安全DX
(株)メルシー	管理医療機器「エスコート・エイチ」(フットケア機器)
山本光学(株)	保護めがね、保護ゴーグル、電動ファン付き呼吸用保護具、遮光用保護具
ユニット(株)	安全用品 重機用安全対策用品
(株)理研オプテック	保護めがね、ゴグル、防災面、遮光用保護具、レーザ用保護具
理研計器(株)	ポータブルガス検知器、酸素濃度計、高圧下用酸素濃度計、VOCモニターなど

出展団体	主な取扱い品目
(一社)仮設工業会	足場等仮設機材の性能試験及び手すり先行システム足場の点検表等
(一社)全国建設業労働災害互助会	事故を未然に防ぐ「労働福祉事業」と万一の事故に備えるための「補償制度事業」の2つの事業で建設業で働く皆さまを支えます。
(一社)日本ガス協会	ガス管損傷事故防止チェックシート、ガス管照会窓口検索サイト周知チラシ

出展国立大学法人	主な取扱い品目
長岡技術科学大学	研究紹介 (足場作業及び除雪作業の安全教育ツール(ゲーム)の展示)

建設業労働災害防止協会	主な取扱い品目
ずい道等建設労働者健康情報管理システムセンター	ずい道等建設労働者健康情報管理システム
化学物質対策センター	作業別リスク管理マニュアル(9種類)
復旧・復興工事安全衛生対策支援センター	・自然災害からの復旧・復興工事安全衛生確保支援事業 ・能登半島地震における支援状況について

# 壇上発表論文等のダウンロードについて

昨年まで大会当日に配布していました大会資料集は、本大会よりホームページからダウンロードしてご覧いただくこととなりました。

ご参加の皆様方におかれましては、事前に建災防全国大会ホームページ内、全国大会参加者専用サイト(令和7年9月24日オープン予定)にアクセスしていただき、壇上発表聴講の際に必要な論文を印刷又は、タブレット等にダウンロードのうえ、2日目の専門部会にご参加いただきますようお願いいたします。

なお、大会専用サイトへのアクセスの際に必要な「ID」、「パスワード」は、参加券等に記載しております。

全国大会ホームページ ▶▶▶



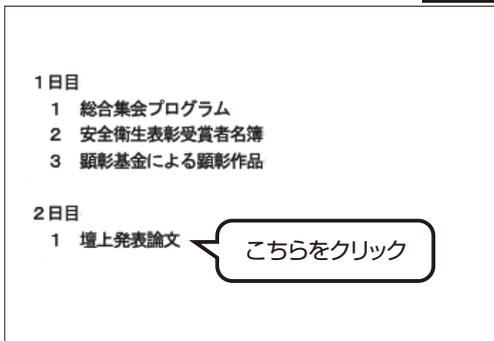
1

建災防 HP の全国大会専用ページの全国大会専用サイトにアクセス後、参加券等に記載の ID、パスワードを入力してください。



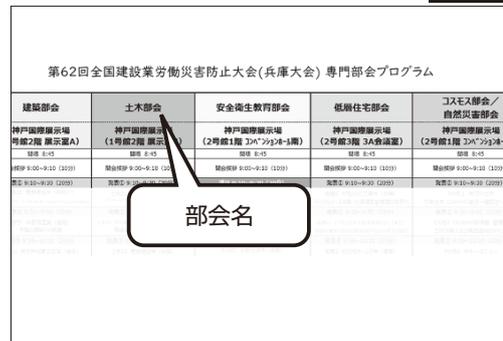
2

2日目 1. 壇上発表論文をクリック



3

聴講される部会名をクリック



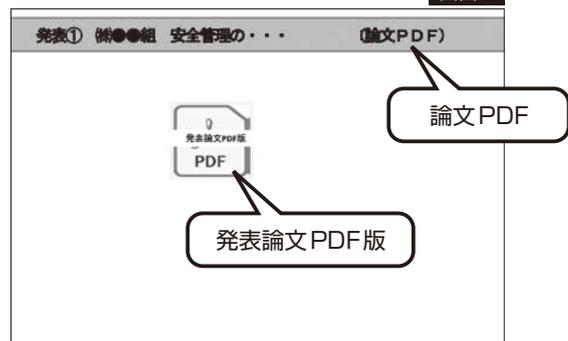
4

聴講される発表タイトルをクリック



5

発表論文 PDF 版又は、論文 PDF をクリックしてダウンロード



(画面表示は、イメージです。)

## 自然災害部会 基調講演 講演者紹介



### 『私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか』 —災害時にトップがなすべきこと—

一般社団法人豊岡アートアクション 理事長 / なかがい むねはる  
元兵庫県豊岡市長 中貝 宗治 氏

1954年兵庫県豊岡市生まれ。京都大学法学部卒業。1978年兵庫県庁に入庁。1987年大阪大学大学院経済学研究科経営学専攻前期課程修了。1991年兵庫県議会議員に当選し、3期を務める。2001年から21年まで豊岡市長を5期務めた。2021年に一般社団法人豊岡アートアクションの理事長に就任。2016年から関西学院大学大学院国内客員教授、2022年から福知山公立大学客員教授に就任。

## 自然災害部会 講演者紹介



### 『阪神高速道路の耐震・防災・減災の取組み』 ～つないでいく1.17～

阪神高速道路株式会社 常務執行役員 たに たか 谷田 豊 氏

1990年4月阪神高速道路公団採用。大阪管理部在籍時に阪神淡路大震災を経験。以降、堺建設部企画課長、技術部技術企画課長、大阪建設部長、技術部長、執行役員を経て、2025年6月より現職。

現在は、デジタル戦略統括・グループ経営・技術担当役員として、工事安全管理や入札契約等の技術管理、新技術開発、DX推進、人材育成等に従事。

## 参加者の皆様へ

### ○受付について

当日の受付（両日）については「会場での受付方法のご案内」をご確認ください。

初日に受付を済まされた方も2日目の専門部会にご参加される際には必ず受付をお済ませのうえ、ご入場ください。

### ○安全衛生関係情報の提供

皆様へご紹介したい資料・リーフレット等を無料で配布するコーナーを会場内に設けますので、ぜひ情報収集にお役立てください。

### ○CPDS（継続学習制度）について

（一社）全国土木施工管理技士会連合会のCPDS（継続学習制度）のユニットが、本大会の専門部会（2日目）を聴講することにより、最大4ユニット取得できます。専門部会会場で「受講証明書」を配布いたします。ユニットの申請は、各自で（一社）全国土木施工管理技士会連合会へ申請してください。

（一社）全国土木施工管理技士会連合会ホームページ：<https://www.ejcm.or.jp>

# 専門部会プログラム

2日目 10月3日(金) 神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル

	建築部会 神戸国際展示場 (1号館2階 展示室A)	土木部会 神戸国際展示場 (1号館2階 展示室B)	安全衛生教育部会 神戸国際展示場 (2号館1階 コンベンションホール南)	低層住宅部会 神戸国際展示場 (2号館3階 3A会議室)	コスモス部会/自然災害部会 神戸国際展示場 (2号館1階 コンベンションホール北)
8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45
9:00	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)
9:05	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	講話 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)
9:15	㈱前田産業 福岡支店	鹿島建設㈱ 本社	厚生労働省	大和ハウス工業㈱ 神戸支店	㈱竹中土木
9:20	未踏の領域への挑戦	A <sup>+</sup> CSEL for Tunnel(クワッドアクセルフォー・トンネル)開発現場における取組み	労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取組	デジタルツールを用いた現場安全管理の効率化	竹中土木 COHSMS 全店一括認定への挑戦
9:25					
9:30	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表① 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)
9:35	鹿島建設㈱ 九州支店	戸田建設㈱ 首都圏土木支店	清水建設㈱ 広島支店	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	COHSMS 評価者 菅原博
9:40	広大な敷地でのスマート生産を駆使した作業効率化に向けた取組み	現場の未来を変える取り組み	地方支店における安全管理について	建設作業者の安全行動を増やすための研究の紹介	コスモス導入及び実施運用のポイント
9:45					
9:50	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表② 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)
9:55	㈱大林組	鹿島建設㈱ 東北支店	中野土建㈱	旭化成ホームズ㈱	㈱ケー・エフ・シー
10:00	食肉処理加工施設新築工事における安全衛生管理への取組み	大規模ダム現場における安全衛生対策の取組み	心を開いて同じ方向を	新規入場者の労働災害撲滅活動について	事業部単独認定から全社版拡大認定へ
10:05					
10:10	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)
10:15					
10:20	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表③ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)
10:25	西松建設㈱ 西日本支社四国支店	清水建設㈱ 九州支店	建災防 山梨県支部	積水ハウス㈱	㈱田中工業
10:30	無足場による高層建築施工計画について	新幹線直上における上部工構築時のICTを活用した安全対策	生成AIによる危険予知! KY(危険予知)活動の深化による安全衛生のDX	リモート安全ミーティングの実践について	中小規模の強みを活かした安全衛生の取り組み
10:35					
10:40	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表④ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)
10:45	㈱フジタ 大阪支店	㈱大林組 北陸支店	東急建設㈱ 首都圏建築支店	㈱東京BK足場 本社	㈱鴻池組 本社
10:50	市街地における超高層ビル解体工事の安全管理	ICTを活用した山岳トンネル工事の災害リスク低減	“シンボルツリーの基”作業員と第三者の安全確保への挑戦	低層住宅用足場の進化	鴻池組のコスモスの運用について
10:55					
11:00	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑤ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	閉会挨拶 11:00～11:05(5分)
11:05	鹿島建設㈱ 関西支店	三井住友建設㈱ 中部支店	鉄建建設㈱	中野土建㈱	コスモスレベル アップミーティング 神戸ポートピアホテル (南館地下1階「ダイヤモンド」) 14:10～16:05(115分) (予定)
11:10	現場で働く全ての人の“ストレスフリー”で安全確保	狭隘な施工ヤードでのPCコンボ橋主桁架設の安全対策	安全教育におけるXR技術の導入による高度化	衰退する人間の能力とこれを補うAI技術	
11:15					
11:20	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	
11:25					
11:30	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑥ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	
11:35	前田建設工業㈱ 関西支店	飛鳥建設㈱	白辛産業㈱ 中林建設㈱	全国低層住宅労働安全協議会	
11:40	競技用プールの大空間における安全対策	標高2,000mでの自然災害に対する安全対策	2社のタッグで紡ぎ出す、等身大の2つの教育	足場法改正後の低層住宅における外部足場の実態と提案	
11:45					
11:50	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	講話 11:50～12:10(20分)	発表⑦ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	
11:55	清水建設㈱ 東京支店	国土交通省	㈱大林組 東京支店	大阪住宅安全衛生協議会	
12:00	RC造における施工合理化による災害防止対策	建設業を取り巻く現状と国土交通省の取組	熱中症の疑いを含む体調不良者の一元管理手法の提案	工事現場における快適(洋式)トイレの持つ多様性	
12:05					
12:10					(昼休) 11:15～12:50(95分) DVD上映
12:20	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	
12:30	DVD上映	DVD上映	DVD上映	DVD上映	
12:40					
12:50					開会挨拶 12:50～13:00(10分)
13:00	基調講演 13:00～14:00(60分)				
13:10	(一社)豊岡アートアクション理事長 / 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治 氏				
13:20	私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか				
13:30	ー 災害時にトップがなすべきことー				
13:40					
13:50					
14:00	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)
14:05					
14:10	発表⑨ 14:10～14:30(20分)	発表⑧ 14:10～14:30(20分)	発表⑧ 14:10～14:30(20分)	発表⑨ 14:10～14:30(20分)	講演 14:10～14:50(40分)
14:15	㈱奥村組 西日本支社	西松建設㈱ 本社	中林建設㈱	大和ハウス工業㈱	阪神高速道路㈱ 常務執行役員 谷田 豊 氏
14:20	地下鉄駅リニューアル工事における輸送の安全及び旅客の安全を確保した施工計画	CIMやICT技術を活用したケーブルクレーン自動運転システム	日本に定着し、真に活躍する外国人材の育成を目指して	AIによる、化学物質の暴露限界値計算について	
14:25					
14:30	発表⑩ 14:30～14:50(20分)	発表⑨ 14:30～14:50(20分)	発表⑨ 14:30～14:50(20分)	発表⑩ 14:30～14:50(20分)	
14:35	㈱竹中工務店 大阪本店	前田建設工業㈱ 中国支店	戸田建設㈱ 名古屋支店	㈱安全センター関西 大阪住宅安全衛生協議会	阪神高速道路の耐震・防災・減災の取組み ～つないでいく1.17～
14:40	オフィス建築小敷地の超高層タワー型集合住宅新築工事における無事故災害の達成に向けたリスク低減活動	鉱山内工事の安全確保	SNSと屋礼KYが作る「自分たちの作業所」の安全文化	大阪住宅安全衛生協議会30年の軌跡	
14:45					
14:50	発表⑪ 14:50～15:10(20分)	発表⑩ 14:50～15:10(20分)	発表⑩ 14:50～15:10(20分)	発表⑪ 14:50～15:10(20分)	発表⑪ 14:50～15:10(20分)
14:55	清水建設㈱ 北海道支店	名工建設㈱ 本店	前田建設工業㈱ 関西支店	大和ハウス工業㈱ 本社	西松建設㈱ 関東土木支社
15:00	デジタルとアナログのベストミックスを追究した工事安全管理	「3H(初めて・変化・久しぶり)要素抽出によるリスク排除と声かけ・応答・手おけ+確認」による安全力の向上	大規模現場の安全衛生管理意識の向上	DXを駆使した作業所環境の構築	自然災害に係る労働災害防止活動
15:05					
15:10	休憩 15:10～15:20(10分)	休憩 15:10～15:20(10分)	休憩 15:10～15:20(10分)	休憩 15:10～15:20(10分)	休憩 15:10～15:20(10分)
15:15					
15:20	発表⑫ 15:20～15:40(20分)	発表⑪ 15:20～15:40(20分)	発表⑪ 15:20～15:40(20分)	発表⑫ 15:20～15:40(20分)	発表⑫ 15:20～15:40(20分)
15:25	㈱大林組 大阪本店	オリエンタル白石㈱ 大阪支店	鹿島建設㈱ 関西支店	㈱LiveAir	清水建設㈱ 土木東京支店
15:30	2025大阪・関西万博 PW北東工区	特定更新工事における安全管理	超高層マンション工事における『寄り添い感』を強く意識した安全管理	現場管理のDX化へ向けた取組み	箱根登山電車 失われた鉄道の早期復活プロジェクト
15:35	木リング施工における先取りの安全管理				
15:40	発表⑬ 15:40～16:00(20分)	発表⑫ 15:40～16:00(20分)	発表⑫ 15:40～16:00(20分)	発表⑬ 15:40～16:00(20分)	発表⑬ 15:40～16:00(20分)
15:45	前田建設工業㈱ 関西支店	清水建設㈱ 関西支店	㈱柄谷工務店	大和リース㈱ 本社	鹿島建設㈱ 東北支店
15:50	万博パビリオン工事における安全管理	大規模重機工事における安全衛生管理活動	兵庫建災防研究会 第1部会 活動報告	自然災害に対する対応	東日本大震災の教訓を次世代に!
15:55					
16:00	閉会挨拶 16:00～16:05(5分)	閉会挨拶 16:00～16:05(5分)	閉会挨拶 16:00～16:05(5分)	閉会挨拶 16:00～16:05(5分)	閉会挨拶 16:00～16:05(5分)

□ 研究発表 ■ 講話 ▨ 講演 ▩ 基調講演

※プログラムは変更になることもあります。

# 建築部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 清水建設(株) 安全環境本部 安全部長 神田 道宏
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	<b>未踏の領域への挑戦 一立入り困難な現場での無人化施工の事例と課題一</b> (株)前田産業 福岡支店 営業部 執行役員 福岡支店長 出口 浩二 本報文では、S造4階建ての建屋を「1・2階部分を残し3・4階部分を解体する」という前代未聞の工事で、「低層階構造の健全性を担保」しながらも、「火災によって建屋内部に滞留している高濃度ダイオキシン対策が絶対条件」という高難度の課題を克服しつつ、従事者の安全確保と周辺環境への配慮という課題をクリアすべく、無人化(リモート操作)重機作業を駆使して休業災害ゼロを達成した事例を報告する。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	<b>広大な敷地でのスマート生産を駆使した作業効率化に向けた取り組み 一インフラ未整備地区でのチャレンジ一</b> 鹿島建設(株) 九州支店 東京応化工業菊池工事事務所 所長 中山 卓哉 現場業務について総労働時間を削減するためには、スマート生産技術を採用した現地作業の効率化や遠隔管理での対応が必要である。この課題を克服するため、広大な工事敷地やインフラ未整備地区という当工事の特性を踏まえ、様々な取り組みや働き方の取り組みを紹介する。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	<b>食肉処理加工施設新築工事における安全衛生管理への取り組み 一安全性と施工性の向上を目的とした活動事例とその効果一</b> (株)大林組 建築本部 本部長室 建築技術部 杭工事技術課 係長 坂本 英之 本工事は国産食鳥の国外輸出を狙った食肉処理加工施設を施工したものである。本施設は国外流通構造拡大に向けて品質や衛生に高い基準が求められた。しかし、工事は短工期、複雑な設計形状、多数の別途業者調整など課題は多岐に渡っていた。そこで我々は安全優先と品質確保のための施工計画検討や施工管理能力の向上を目的とした教育に取り組んできた。その効果は新工場完成に加え、今後の現場管理へ活かされていくと考えられる。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	<b>無足場による高層建築施工計画について 一工法、機械、設備等の工夫、改善による安全性の向上一</b> 西松建設(株) 西日本支社四国支店 文理大高松工事事務所 所長 国 安 卓 本論文では、JR高松駅横に建設された地上18階建て大学キャンパスの施工事例を紹介し、狭小敷地・JR線路近接・強風地域という厳しい条件下で、外部足場を使わずに安全施工を実現した技術的工夫に焦点を当てます。コラムステージへの先行ネット設置、外壁PC板取付時の作業区画ネット設置、PC部材の工場仕上げ、外装金物の地上先付けなど、飛来落下防止と作業効率向上を両立させた取り組み事例です。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	<b>市街地における超高層ビル解体工事の安全管理 一デジタル技術活用による災害リスクの低減一</b> (株)フジタ 大阪支店 安全部 石井 貴雄 大阪マルビルをプロジェクトの一環として建替を行なうことになった。建物は軒高123.3mの高層棟と低層棟で構成されており、周囲を高さ130m以上の高層建築物で囲まれている。大阪市街地中心部での超高層建物の解体となる為、災害防止はもとより近隣・第三者へ最大限の配慮を行なった安全衛生管理について報告する。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	<b>現場で働く全ての人の“ストレスフリー”で安全確保</b> 鹿島建設(株) 関西支店 ノルデン南森町1丁目工事事務所 現場所長 世古 信之 当工事は、鹿島関西支店が1996年から、約30年に亘り継続的に特命にてご下命をいただいているお客様の11棟目となる賃貸マンション工事である。地下鉄・JRの地下函体が近接し、交通量の多い交差点近くでの工事であり、市街地での最大限の配慮が必要である。狭い敷地いっぱい建つ当建物を、お客様に安心感を与えつつ近隣にも配慮し、かつ技能者が生き生きと仕事ができる環境をいかに構築したかを紹介する。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ⑦	<b>競技用プールの大空間における安全対策 一屋根鉄骨スライド工法の採用と天井工事無足場化への取り組み一</b> 前田建設工業(株) 関西支店 草津プール作業所 副所長 福光 哲郎 競技用プールの大空間における屋根工事から天井工事までの工程において、敷地条件や安全性を考慮した工法を選定し、作業手順や安全設備について更なる検討を行い、屋根スライド工法の採用と無足場化による安全対策と省力化に取り組んだ事例を報告する。

11:50～12:10 (20分)	発表 ⑧	<b>RC造における施工合理化による災害防止対策</b> —工業化技術・ユニット化技術採用による墜落災害のリスク低減— 清水建設(株) 東京支店 埼玉営業所 工事長 岡部 達也
<p>外構面積が比較的大きな郊外の工事であることを活かし、地面上で安全に作業が行える工法を採用することで高所作業を極力削減すると共に、外壁のフルPC化、鉄筋トラス付デッキ、鉄骨階段の採用等、工業化工法を積極的に採用することにより、RC造における延べ労働時間の大幅な短縮を図った。</p>		
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	<b>私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか</b> —災害時にトップがなすべきこと— (一社)豊岡アートアクション理事長/元 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑨	<b>地下鉄駅リニューアル工事における輸送の安全及び旅客の安全を確保した施工計画</b> —限られた作業時間、限られた空間内での仮設計画、資機材運搬計画— (株)奥村組 西日本支社 関西建築第1部 建築 九里 晃平
<p>地下鉄駅リニューアル工事における輸送の安全及び旅客の安全を確保した施工計画について</p>		
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑩	<b>オフィス街狭小敷地の超高層タワー型集合住宅新築工事における</b> 無事故無災害の達成に向けたリスク低減活動 —安全は現地工数削減と働きやすい職場環境づくりから— (株)竹中工務店 大阪本店 作業所 作業所長 林 茂史
<p>本工事は大阪市中央区のオフィス街狭小敷地に計画された超高層タワー型集合住宅新築工事である。飛来落下・公衆災害発生リスクが大きく難易度の高い工事をオフサイト化やプレファブ化による現地工数削減・デジタル施工技術の活用などの業務プロセスの運用により生産性向上を図り、外国人や女性の活躍推進・時間外労働上限規制を見据えた新しい働き方に取組みながら働きやすく明るい職場環境づくりを実現した成果の報告である。</p>		
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑪	<b>デジタルとアナログのベストミックスを追究した工事安全管理</b> —ICT活用による労働時間短縮とコミュニケーション力育成による組織力アップ— 清水建設(株) 北海道支店 建築部 副部長 秋田 竜
<p>第三者と一般車両の往来が非常に多い札幌市の中心地において、鉄道高架線路に近接し、国道沿いという条件でのさまざまな厳しい制限・制約対策、インフラ埋設物損傷防止を図るとともに、ICT化による労働時間短縮の取り組み、事故・災害ゼロを達成することができた</p>		
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:40 (20分)	発表 ⑫	<b>2025大阪・関西万博 PW北東工区 木リング施工における先取りの安全管理</b> —2,820万人の来場者を迎えるために— (株)大林組 大阪本店 夢洲総合工事事務所 工事係長 篠原 慎吾
<p>数多の課題を克服し、大阪関西万博会場は完成した。全周2km、大断面集成材のピース数が1万ピースを超える大屋根リング(北東工区)の施工では、災害発生リスクを徹底的に排除するための地組・建方計画とその実大施工試験を行った。万博のシンボルとなる建造物を、無事故無災害で完成させるに至った安全管理の内容を紹介する。</p>		
15:40～16:00 (20分)	発表 ⑬	<b>万博パビリオン工事における安全管理</b> —BIMを使用した支保工足場組立の取組ほか— 前田建設工業(株) 関西支店 建築部 作業所長 水谷 基樹
<p>2025年大阪関西万博において、パビリオンを受注した。とても複雑な形状をした建物を建造する仕事となる。通常の想定で進めることが困難な足場支保工をBIMの力を使って3次元に表して計画を進め、安全上不備の無い仮設計画を実施することとした。仮設といえど何度も何度も関係各社を含めて協議を重ねていくことで、実施工に入った際に組み替え等が起こらない計画を標榜し進めていった。</p>		
16:00～16:05	閉会挨拶	副部会長 (株)竹中工務店 役員補佐 安全環境担当 松岡 香世子
<p>※13時からの基調講演は自然災害部会(2号館コンベンションホール北)で行います。</p>		

# 土木部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 鹿島建設(株) 特別参与 本多 敦郎
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	<b>A<sup>4</sup>CSEL for Tunnel(クワッドアクセル・フォー・トンネル)開発現場における取組み</b> —トンネル掘削自動化開発現場における作業環境の改善について— 鹿島建設(株) 本社 土木管理本部土木工務部トンネルグループ 次長 女賀 崇司 山岳トンネル工事における「熟練技能者不足」、「高い労働災害の発生率」、「低い生産性」等の課題解決に向けて当社は岐阜県飛騨市の神岡鉱業株式会社の敷地をお借りし、トンネル掘削の自動化「A <sup>4</sup> CSEL for Tunnel」の開発を行ってきた。当現場では自動化機械の開発に加え、将来を支える担い手確保のため、従来のトンネル掘削作業環境を改善し、次世代に繋げる魅せる現場作りについても実施したので紹介する。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	<b>現場の未来を変える取組み —ドローンとICTを導入し効率化—</b> 戸田建設(株) 首都圏土木支店 土木工事3部工事3室 作業所長 小川 敦史 当現場では、施工課題解決ツールとして時間軸を入れた音声入り4Dシミュレーション動画を社内外で有効利用している。さらに、供用中の圏央道と近接施工の難工事を3人の職員で対応すべく、すべての業務にドローンやアクションカメラなどのAI・ICTデジタルツールを駆使するなど、工事関係者の情報を一元管理することで、少人数でも多種多様な工種の効率的な施工管理を実現し、建設現場の未来を変える取組みを進めている。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	<b>大規模ダム現場における安全衛生対策の取組み</b> —自動化施工・高所作業・熱中症対策— 鹿島建設(株) 東北支店 成瀬ダム堤体打設JV工事事務所 機電グループ長 内場 謙二 本論文では、・自動化施工機械と有人重機の接触事故等の防止・ダム上下流面型枠作業時の高所作業に対する安全対策・近傍に病院がない山間部工事における熱中症対策 これら課題に対する取組みの一例について概説する。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	<b>新幹線直上における上部工構築時のICTを活用した安全対策</b> —「手延べ式送出し工法」による約600tの鋼桁架設— 清水建設(株) 九州支店 土木部 工事長 船岡 基 九州新幹線と肥薩おれんじ鉄道の直上で「手延べ式送出し工法」による約600tの鋼桁を架設する工事において、長大かつ高所での曲線鋼桁送出し工事の際の「転落・墜落、倒壊リスク」と、夜間作業時間が限られた条件下で作業の緊迫感から来る焦りによって起こる「ヒューマンエラーによる災害リスク」を回避、低減するために、「計画」「実施」「管理」の各段階において実践したICT活用事例について報告する。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	<b>ICTを活用した山岳トンネル工事の災害リスク低減</b> —建設機械の遠隔化と作業員の意識向上— (株)大林組 北陸支店 宝珠山トンネル工事事務所 工事長 山中 孝文 「磐越自動車道 宝珠山トンネル工事」では、磐越自動車道の4車線化拡幅工事を行っており、供用中のI期線トンネルに並走するII期線の山岳トンネルを施工している。本稿では、山岳トンネル工事の災害リスク低減を目的としたICT活用事例について報告する。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	<b>狭隘な施工ヤードでのPCコンボ橋主桁架設の安全対策</b> —多様な架設方法を採用したPC桁架設時の安全対策— 三井住友建設(株) 中部支店 土木部 主任 内山 裕斗 本工事は、車線数が2車線から4車線に変化する区間のため、当初から完成4車線の高幅員施工となっている。加えて、工事延長の約3分の2で事業用地が道路幅員程度しか確保されておらず、非常に狭隘な施工ヤードでのPC桁架設が求められた。本稿は、架設の順序と機材の種類・配置を見直し、各施工箇所異なる方法で行ったPC桁架設の安全対策について報告するものである。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ⑦	<b>標高2,000mでの自然災害に対する安全対策</b> —豪雨に対する安全確保と資材運搬に対する安全対策の取組み— 飛鳥建設(株) 営業本部 技術企画部 主任 戸澤 信吾 当現場は、石川県白山市の白山西方の標高約2,000mに位置し、白山国立公園特別保護地区にあり現場まで登山が必要となる。本工事の目的は、万才谷から基之助谷への浸透水により発生する地すべりを抑制することである。本工事はこの浸透水の一部を万才谷から赤谷へ排水するためのトンネル等を構築する工事であり、I～III期(14年)にかけて施工した。また、積雪の関係で冬期は休工となり、施工可能期間は6月～10月に限られる。

11:50～12:10 (20分)	講 話	<b>建設業を取り巻く現状と国土交通省の取組</b> 国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課 専門工事業・建設関連業振興室長 近藤 陽介    建設業の現状や課題について、最新のデータを用いて解説するとともに、それに対する国土交通省の取組を紹介する。
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	<b>私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか</b> —災害時にトップがなすべきこと— (一社)豊岡アートアクション理事長/元 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発 表 ⑧	<b>CIMやICT技術を活用したケーブルクレーン自動運転システム</b> —ダムコンクリート打設時の工学的安全対策— 西松建設(株) 本社 技術研究所 先端技術グループ 主任 荻本 晃弘    ダムコンクリート打設時の工学的安全対策 CIMやICT技術を活用したケーブルクレーン自動運転システム
14:30～14:50 (20分)	発 表 ⑨	<b>鉱山内工事の安全確保 —石灰岩鉱山内工事における安全対策の取り組みについて—</b> 前田建設工業(株) 中国支店 鍵掛峠PC作業所 作業所長 寅岡 千丈    稼働している石灰岩鉱山内において採掘作業とは別に坑道を構築することは一般的な建設現場とは準拠すべき法令や作業環境が異なる。そのため本工事を遂行するため生じた安全管理方法や責任分界点等の不明点について協議・確認を行い、工事を完遂させることが出来た。本論文はそれら不明点を明確にし、実施した安全対策の取り組みについて述べたものである。
14:50～15:10 (20分)	発 表 ⑩	<b>「3H(初めて・変化・久しぶり)」要素抽出によるリスク排除と</b> —声かけ・応答・手あげ+「確認」による安全力の向上— —計画段階及び実施段階での重篤な労働災害防止の取り組み— 名工建設(株) 本店 軌道本部 名古屋軌道部 米原新幹線軌道事務所 所長 山田 和樹    「重篤な労働災害」を防止するため、計画段階におけるリスク排除の強化及び、実施段階における「確認」の徹底による取組みを行った。①3H(初めて・変化・久しぶり)作業における、リスクを抽出する要素を定め、潜在リスクの抽出と排除事項を検討 ②検討したリスク排除事項の現場履行確認を社員全員で行い、情報を共有 ③作業員の状況を指揮者が「確認」し次工程に移行することで、「思い込みや未確認等による事故」の発生を防止する
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:40 (20分)	発 表 ⑪	<b>特定更新工事における安全管理</b> —新技術の開発と遠隔自動化による安全性の向上と省人化の実現— オリエンタル白石(株) 大阪支店 工事部 工事係 古賀 新悟    本工事は、総幅員を上下線と施工帯の3分割にして工事を行うため、施工帯と供用中の車線が近接している。また施工帯が狭隘なスペースであるため、これらの作業場所の確保と作業員の安全確保が最重要課題であった。そこで、新技術の開発と各種機械の遠隔自動化にすることにより、安全性の向上に加え、省人化を実現することができた。また、情報設備を設置し、交通状況の変化に応じて情報を提供し、ドライバーの安全を確保している。
15:40～16:00 (20分)	発 表 ⑫	<b>大規模重機土工事における安全衛生管理活動</b> —長期にわたる重機土工事の安全衛生管理における工夫の紹介— 清水建設(株) 関西支店 土木部 茨木彩都C区画整理造成作業所 副所長 水澤 正和    本工事は切土量320万m <sup>3</sup> の土工量を施工する長期間にわたる大規模重機土工事であり、安全衛生管理のための様々な工夫を実施しながら施工を行っている。本論文では①朝礼・KY・作業指示、②重機点検、③運行管理、④施工管理、⑤環境管理の5つの観点から現場で工夫した取り組みを紹介する。
16:00～16:05	閉会挨拶	副部会長 清水建設(株) 関西支店 神戸営業所 安全長 佐々木 貴志

※13時からの基調講演は自然災害部会(2号館コンベンションホール北)で行います。

# 安全衛生教育部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 戸田建設(株) 安全品質環境管理本部 安全管理統轄部 安全管理1部 専任役 小澤 重雄
9:10～9:30 (20分)	講 話	<b>労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取組</b> 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 船井 雄一郎    最近の建設業における労働災害の動向や労働災害防止に向けた厚生労働省の取組について解説する。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ①	<b>地方支店における安全衛生管理について</b> —ICTを併用した「シン・ヒューマンコミュニティ管理」— 清水建設(株) 広島支店 安全環境部 主査 木村 紀博    ・当支店では、支店独自に開発して全国展開したシステムや民間企業のアプリを活用して、組織としてどのような安全衛生管理をしているか。・支店のライン管理と並行して、安全環境部として現場管理者、若手社員、派遣社員、職長のボトムアップをどのように上げているのか。この2点について、支店の活動と、部署独自の活動でのICTを活用した地方支店における「シン・ヒューマンコミュニティ管理」を紹介する。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ②	<b>心を開いて同じ方向を</b> —ソフト(形のない無形)な安全対策でチームワークを高める— 中野土建(株) 土木部 工事所長 浅川 栄二    「心を開き、コミュニケーションを深め、チームワークを高める」同じ方向を向き、同じ目標に向かって進むために日々取り組んでいるソフトな安全対策の紹介。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ③	<b>生成AIによる危険予知! KY(危険予知)活動の深化による安全衛生のDX</b> —新ヒヤリハット報告の活用でKY活動の活性化を目指す新たな安全活動— 建災防 山梨県支部 業務部 部長 山本 憲一    建災防が考案した「新ヒヤリハット報告」をヒントに、活用方法を見出す中、回避できた理由(グッドリカバリー)に着目し、それをKY活動に生かし労働災害の根絶を目指した。KY活動の課題は、検討した危険のポイントの抽出や防止対策事項が抽象的な状況が散見する。そこで、生成AIによるヒントを危険予知につなげ、報告されたデータベースを有効に活用し、KY活動の深化による安全衛生のDX化についてその取り組みを紹介する。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ④	<b>“シンボルツリーの基”作業員と第三者の安全確保への挑戦</b> —Go for the Safe as One (一丸となって安全を目指そう)— 東急建設(株) 首都圏建築支店 (仮称) 東京都中野区東中野5丁目計画新築工事 作業所長 美登 一博    伐採されずに残った樹木を『現場のシンボルツリー』と定め、第三者を含め多くの眼が作業を視ている事を意識させ、「まさか」から“もしも”の安全衛生管理へと意識変換をしました。「地元のシンボルツリーの基」の視線を浴びながらの施工を意識し、事後の100策より事前の1策の考えにより、元請依存による安全衛生管理から脱却し、『第一に安全衛生を考えたから行動する』いわゆる『“考動安全”』に挑戦した活動内容を紹介します。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑤	<b>安全教育におけるXR技術の導入による高度化</b> —身体で覚える教育とARの融合で学習効果の向上を目指して— 鉄建建設(株) 安全推進室 安全企画部 担当部長 鳴海 彰三    鉄建建設株式会社は「鉄道工事事故ゼロ」を目指し、建設技術総合センターに実体験型の研修施設を設けて安全教育に取り組んでいる。従来の身体で理解する教育手法にデジタル技術を融合させた「安全DX」への進化を図っている。VR技術による危険体験シミュレーションやAR技術を活用した実習線設備との融合により、社員や協力会社の作業員に対する安全教育の効果向上と現場対応力の強化を目指している。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発 表 ⑥	<b>2社のタッグで紡ぎ出す、等身大の2つの教育</b> —強みと悩みを互いに共有。難問・課題を一緒に解決— 白幸産業(株) 総務部安全課 課長 水谷 靖 中林建設(株) 安全・品質管理室 室長 岩崎 亘    中林建設と白幸産業、なぜ両社がともに安全衛生教育を行うことになったのか。その結果両社にもたらされた意外なシナジーとは。新しい発想から生み出された新しい教育が、新しい風を吹き込み道を創り出す。体当たりで生まれた2つの安全衛生教育を詳述する。

11:50～12:10 発表⑦ **熱中症の疑いを含む体調不良者の一元管理手法の提案**  
(20分) **—産業医監修による体調不良者管理シートの活用とその効果—**

(株)大林組 東京支店 八重洲一丁目東JV工事事務所 安全長 甚野 学

当現場の熱中症対策の一つとして、産業医監修の下、体調不良者管理シートを作成して体調不良者の一元管理を試みた。その結果、現場の判断基準が明らかになり、無理・無駄のない対応が実施できた。一元管理することで、職員の労力軽減にも高い効果を発揮したと評価する。発生原因を分析して現場独自の傾向を早い段階で理解することは、現場作業員だけでなく、協力会社にも適時・適格な指示が可能となり熱中症予防効果に有効であることが確認できた。

12:10～13:00 昼 休 DVD上映

13:00～14:00 基調講演\* **私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか**  
(60分) **—災害時にトップがなすべきこと—**

(一社)豊岡アートアクション理事長/元 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治

14:00～14:10 休 憩

14:10～14:30 発表⑧ **日本に定着し、真に活躍する外国人材の育成を目指して**  
(20分) **—「互いに学んで理解する」教育から共育への進化と確立—**

中林建設(株) 安全・品質管理室 室長 岩崎 亘

もはや欠かすことのできない、外国人労働者の力。「数年したら母国に帰る」という、いなくなることを前提とするのではなく、日本の社会に溶け込み定着し、末永く中林建設の中核的な戦力として働いて欲しい。願いを形にするために模索した新しい教育とは。

14:30～14:50 発表⑨ **SNSと昼礼KYが作る「自分たちの作業所」の安全文化**  
(20分) **—若手女性職員がリーダーシップと対話で変えた未来のかたち—**

戸田建設(株) 名古屋支店 建築工事業部 係員 石原 美香子

戸田建設(株) 名古屋支店 建築工事業部 作業所長 竹内 昌史

当社は安全ビデオと作業所写真の活用により危険予知能力向上を図る安全トレーニングを開発。従前は30分超の時間を要し作業員へ負担感を与え教育効果が一時的に留まる事が課題だった。そこで当作業所では①昼礼KY5分程度 ②SNSを導入し独自の改良活動を実施。結果作業員の意識向上や危険予測能力持続を初め相互理解の活性化等の成果が得られた。若手女性職員が統率力を発揮し対話を定着させ無事故無災害で竣工を迎えた本活動について考察する。

14:50～15:10 発表⑩ **「職長会の積極的な活動による大規模現場の安全衛生管理意識の向上」**  
(20分) **—「創意工夫で現場の一体感を高めて安全で心地よい現場づくり！」—**

前田建設工業(株) 関西支店 三宮新港町作業所 作業所長 杉本 真也

本工事は、神戸港開港150年記念事業での物件で、先行完成した西棟と共にツインタワーを構成する地上27階の高層住宅となります。作業所に従事する職員・作業員とも西棟の経験者が多く、経験は豊富にある物の、思い込みや慣れに起因する災害が懸念されました、又「人員不足」や「労働時間規制」等の新たな課題もあり、コミュニケーションを密にして風通しの良い職場環境を作る事が重要と考え、職長会と共に行った取組について報告します。

15:10～15:20 休 憩

15:20～15:40 発表⑪ **超高層マンション工事における『寄り添い感』を強く意識した安全管理**  
(20分) **—大阪十三発(初) きめ細やかな安全活動事例の紹介—**

鹿島建設(株) 関西支店 鹿島・高松共同企業体阪急阪神不動産十三東計画東敷地JV工事事務所 副所長 中村 康孝

大規模なHiRC超高層の分譲マンション工事で、制御層制震構造「KaCLASS」の初適用等、非常に難易度の高い構造躯体の建物において、現場で働く技能者に対し『寄り添い感』を強く意識して実施した労働災害を防止するための様々な安全管理の取組みについて紹介する。

15:40～16:00 発表⑫ **兵庫建災防研究会 第1部会 活動報告**  
(20分) **—建設業における新人・未経験者のための安全点検チェックポイント—**

(株)柄谷工務店 安全管理部 部長 浦埜 浩幸

近年、中小建設業界では、若者の入職率の低下や離職率の増加が顕在化し、大きな問題となっています。未来に希望を持って入職する若者たちに、建設業の魅力や本質を伝え、「働き甲斐のある職場」、「誇りの持てる職場」で長く継続して働いてもらえるようこの研究会を通じて、多くの会員各社に賛同していただけるような提案をしています。また、そうした新入社員の方の困ったことを分かりやすくアドバイスする内容となっています。

16:00～16:05 閉会挨拶 副部会長 (株)大林組 大阪本店 安全部 副部長 吉田 善紀

※13時からの基調講演は自然災害部会(2号館コンベンションホール北)で行います。

# 低層住宅部会

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 大和ハウス工業(株) 本社 技術本部 安全統括部 戦略グループ 担当部長 吉田 伸司
9:10～9:30 (20分)	発表 ①	<b>デジタルツールを用いた現場安全管理の効率化 一人手不足と安全管理をDXで解決—</b> 大和ハウス工業(株) 神戸支店 安全管理課 係長 刀根 栄敏  デジタルツールを用いた現場安全管理の効率化 ～人手不足と安全管理をDXで解決～ 本論文は、建設現場の安全管理をデジタルツールで効率化する取り組みを紹介します。少子高齢化による人手不足と安全管理の課題を解決するため、物件ポータルサイトや統合カメラシステムなどを活用し、現場の安全性と業務効率を向上させる方法を提案しています。
9:30～9:50 (20分)	発表 ②	<b>建設作業員の安全行動を増やすための研究の紹介</b> (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 リスク管理研究グループ 上席研究員 高橋 明子  本発表では、建設作業員の不安全行動の防止のため、建設作業員の安全行動を増やすことに着目し、(一社)住宅生産団体連合会 工事・CS安全委員会の協力を得て実施した一連の研究を紹介する。本研究は、建設作業員を対象とした2つの調査により、建設作業員の安全行動をモデル化し、安全行動に有意に影響する要因を明らかにした。また、これらの結果をもとに、安全行動を促進する教育プログラムの検討を行った。
9:50～10:10 (20分)	発表 ③	<b>新規入場者の労働災害撲滅活動について</b> <b>—新規入場者(従事後2年未満の作業員)の安全フォロー教育の実施—</b> 旭化成ホームズ(株) 施工本部 施工推進部 施工戦略グループ 課長 奥山 峰晴  住宅建築現場において高齢者の適正配置や、担い手確保・育成が喫緊の課題ですが、そのような状況のもと、弊社内では経験2年未満の労働災害が増加し続けておりました。この問題を解決するために、安全教育の仕組みを一部見直し、とくに新規入場者に対する教育に焦点を当てて活動を行いました。その報告をいたします。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発表 ④	<b>リモート安全ミーティングの実践について</b> <b>—労働災害・公衆災害の削減をいかに図るか?—</b> 積水ハウス(株) 東北営業本部 スペシャリスト 新倉 正也  積水ハウス株式会社 東北営業本部では、労働災害および公衆災害の削減を目的として、リモート安全ミーティングの導入を実施した。本研究では、従来の安全活動の課題を踏まえ、リモート形式による安全教育の有効性を検証し、実施に至る背景、運用方法、得られた成果について報告する。今後の展望として、デジタルツールの活用による安全活動の質的向上と業務効率化の可能性について考察する。
10:40～11:00 (20分)	発表 ⑤	<b>低層住宅用足場の進化 一控えを設けなくても自立する先行足場—</b> (株)東京BK足場 本社 取締役副社長 栗山 拓人  低層住宅足場は、壁つなぎや控えを設けられないため、足場の倒壊事故が発生しやすい。当社は、足場の自立性が高く、強風にも耐えられる施工技術の開発に取り組む。(完全4面先行足場・ガーターリフト上棟・スライドレール式安全ブロック工法)
11:00～11:20 (20分)	発表 ⑥	<b>衰退する人間の能力とこれを補うAI技術 一過去から学ぶ危険予知—</b> 中野土建(株) 建築部 工事所長 岸田 伸也  昔から感の良い人はいます。人間の本来備わっている能力が衰退する中で、一早く危険を察知して退避行動をとるべく、飛躍的な発展を遂げ続けるAI技術がこれを補う。また、社会にあふれる偽・誤情報の中から真実を見抜き、正しい判断をする為に縄文人的直感を生かす。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発表 ⑦	<b>足場法改正後の低層住宅における外部足場の実態と提案</b> <b>—法改正の趣旨と足場設置の意義—</b> 全国低層住宅労務安全協議会 安全パトロール部会 部会員 白水 匡  全国低層住宅労務安全協議会にて、2024年11月に実施した合同安全パトロールの各現場の外部足場の設置状況を法改正後の2側足場を中心に確認した結果の報告と妻側の墜落防止措置についての提案をします。

11:50～12:10 (20分)	発表 ⑧	<b>工事現場における快適(洋式)トイレの持つ多様性</b> —阪神淡路大震災30年経過と能登半島地震から通じて見える課題と対策— 大阪住宅安全衛生協議会 現場環境部会 部会員 中谷 哲也(佐々木 祥訓、井上 葉慈)
<p>本論文では、阪神淡路大震災および能登半島地震の教訓を踏まえ、災害時の衛生環境改善に向けた「快適(洋式)トイレ」の重要性と多様性について考察する。特に建設現場における仮設トイレの洋式化推進が、高齢者・外国人労働者への配慮や災害対応力の向上に寄与することを発表いたします。</p>		
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～14:00 (60分)	基調講演*	<b>私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか</b> —災害時にトップがなすべきこと— (一社)豊岡アートアクション理事長/元 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑨	<b>AIによる、化学物質の暴露限界値計算について</b> —その化学物質、微量でも呼吸器用保護具必要ですか?— 大和ハウス工業(株) 安全統括部 課長 森 朋仁
<p>化学物質のスプレー缶を、仕事で1日一吹きする程度でも、呼吸器用保護具を使用するRA結果となることが多い。しかし、この量で呼吸器用保護具を使う事は現実的ではない。新しい考え方として、暴露制限値をまったく超えない事をAIで立証する。その手法を発表致します。</p>		
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑩	<b>大阪住宅安全衛生協議会30年の軌跡</b> —「安全に垣根なし」：一致団結・災害防止活動～これからの協議会— (株)安全センター関西 大阪住宅安全衛生協議会 運営推進局長 阪本 一馬
<p>発足・設立当初より「安全に垣根なし」をスローガンに掲げて、現場安全パトロールはもとより、教育・安全資料の作成・安全用品、設備用品の改善・人財雇用支援・ボランティア活動、異業種見学会等、幅広く活動をしている協議会です。毎年安全サミットを開催して、協議会会員の皆様に安全の重要性を周知徹底しています。そのようなことを踏まえて発表いたします。</p>		
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑪	<b>DXを駆使した作業所環境の構築</b> —複雑な躯体形状である建物の安全運営改善— 大和ハウス工業(株) 本社 万博推進室 作業所長 森田 貞治
<p>関西大阪万博にて主架構角度が全て異なる難解な形状のパピリオン建設計画及び施工を実施。安全な作業環境を構築する為、DX活用にて内部足場、建て方計画の策定を行った。特に最新のBIMモデル作成を行う事により従来の2D検証だけでなく、3Dにて実施する事により精細な安全計画、検証を可能とした。3Dモデル視覚化により完成イメージが容易とした。DXを用いる事により更なる安全管理、省力化を可能としたプロジェクトである。</p>		
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:40 (20分)	発表 ⑫	<b>現場管理のDX化へ向けた取組み</b> —現場の“つながり”を、ひとつのアプリで— (株)LiveAir 専務取締役COO 馬場 健彰
<p>建設業特有の重層構造や屋外作業環境により、情報伝達の即時性・正確性・効率性が損なわれる課題がある。これらの問題点を整理し、現場従事者の作業実態に即した統合アプリの導入による改善策を提案させて頂きます。簡易な操作性、情報の一元管理機能などにより、業務効率と安全性の向上が期待できます。</p>		
15:40～16:00 (20分)	発表 ⑬	<b>自然災害に対する対応</b> —令和6年能登半島地震 災害発生から仮設住宅建設までの流れ— 大和リース(株) 本社 技術本部 理事 池上 勉
<p>応急仮設住宅は、災害によって住宅に被害を受けた被災者にとって、恒久的な住宅を確保するまでの生活の基盤となるものであり、重要な支援制度の一つである。制度の概要や能登半島地震における運用、今後の課題を整理した。</p>		
16:00～16:05	閉会挨拶	副部会長 (株)新井組 安全環境部 部長 田中 利哉

※13時からの基調講演は自然災害部会(2号館コンベンションホール北)で行います。

# コスモス部会

8:45～ 開 場

9:00～9:10 開会挨拶 部会長 (株)熊谷組 安全本部 安全推進部 副本部長 安全推進部長 大川原 英治

9:10～9:30 発表① 竹中土木 COHSMS 全店一括認定への挑戦  
(20分) **—COHSMSの社内浸透への取組み及び活用法—**

(株)竹中土木 技術・生産本部 安全品質環境部 課長 中澤 慎近

竹中土木は、2024年4月23日にCOHSMSの全店一括認定を受けました。そのあゆみについて述べます。また、COHSMSの社内浸透への取組みや一括認定後の化学物質の自律的管理への教育活動について紹介します。さらに社内営業部門との連携によるCOHSMSの活用法についての提案を行いますので、今後のCOHSMSの活動の参考にしていただけたら幸いです。

9:30～9:50 発表② コスモス導入及び実施運用のポイント **—建設事業場の安全衛生水準の向上のために—**  
(20分) COHSMS 評価者 菅原 博

コスモス導入時において担当者が積極的に努力するもののシステムがなかなか浸透しない状況や、コスモス導入により一時的に災害件数が低下し安全衛生水準が向上しても、その後足踏みが続くという状況が見られる。本論文では、筆者のこれまでの経験から得た知見を基に、コスモス導入時及び実施運用時におけるシステムを効果的に実施運用するためのポイント及び留意点等について述べる。

9:50～10:10 発表③ 事業部単独認定から全社版拡大認定へ **—KFCコスモス—**  
(20分)

(株)ケー・エフ・シー 建設事業部 部長 富岡 秀典  
(株)ケー・エフ・シー 建設事業部 副部長 金丸 雅子  
(株)ケー・エフ・シー 建設事業部 課長 岡田 雅義  
(株)ケー・エフ・シー 建設事業部 課長 福田 浩二

株式会社ケー・エフ・シーは、労働安全衛生マネジメントシステム「KFCコスモス」を建設事業部で先行導入し、2020年に単独で認定取得。その後、土木資材事業部、ファスナー事業部を追加し、システム教育や監査の強化と、安全衛生管理の徹底を図り、全社版として、2023年12月に更新・拡大認定を達成。今後も運用で見えた課題を解決し、現場と店社が一体となり、スパイラルアップによる継続的改善を進めていきます。

10:10～10:20 休 憩

10:20～10:40 発表④ 中小規模の強みを活かした安全衛生の取組み **—社員を守り魅力ある会社へ—**  
(20分) (株)田中工業 工事部 サプリダー 小口 恵

「社員の安全を守り、若い人にとって魅力ある会社にしたい」。当社のコスモス認定取得への挑戦は、社員の安全と健康を願う強い思いと共に始まりました。コスモス認定取得からシステム運用まで、中小規模ならではの安全衛生の取組みをご紹介します。

10:40～11:00 発表⑤ 鴻池組のコスモスの運用について **—コスモスを活用した社内の安全衛生管理システムの進化—**  
(20分) (株)鴻池組 本社 安全環境部 部長 小川 孝二

急速にIT化が進む現代において、建設業においても新しい工法や機械の導入による効率化が図られています。それによる作業環境の変化が新たな安全のリスクに繋がってきていると考えています。鴻池組ではコスモスの更新審査を通して蓄積した安全衛生管理のシステムを更にスパイラルアップしていきたいと考えています。この論文では今までのシステムの定着経緯を説明するとともに次の時代につなげていく方向を紹介します。

11:00～11:05 開会挨拶 建設業労働災害防止協会 技術総轄審議役兼事業部長 釜石 英雄

14:10～ **コスモスレベルアップミーティング(神戸ポートピアホテル南館地下1階ダイヤモンド)**  
※参加は事前に登録されたコスモス認定企業に限ります。

# 自然災害部会

11:15～12:50 昼 休 DVD上映

12:50～13:00 開会挨拶 部会長 清水建設(株) 安全環境本部 顧問 伊藤 勝啓

13:00～14:00 基調講演 **私たちはどのように2004年台風23号災害と闘ったのか**  
(60分) **—災害時にトップがなすべきこと—**  
(一社)豊岡アートアクション理事長/元 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治

14:00～14:10 休 憩

14:10～14:50 講 演 **阪神高速道路の耐震・防災・減災の取組み** **—つないでいく1.17—**  
(40分) 阪神高速道路(株) 常務執行役員 谷田 豊

14:50～15:10 発 表 ① **自然災害に係る労働災害防止活動**  
(20分) **—自然災害から建設労働者を守るためのリスクアセスメントの実施や体制、  
マニュアルの整備について—**  
西松建設(株) 関東土木支社 富士赤坂出張所 所長 佐山 裕之

本工事は、山梨県富士吉田市の河口湖付近に位置する高速道路の耐震補強工事である。河川氾濫、大規模地震、富士山の噴火等の自然災害発生時に、関係者が安全な避難ルートを確認できるArcGISを活用している。ArcGISでは経時変化する危険範囲を想定し、地形から模索した避難ルートをハザードマップで展開するほか、緊急時の通知、リアルタイム表示も可能である。現場では、防災意識を高く持ち、各種システムを活用した防災管理を行っている。

15:10～15:20 休 憩

15:20～15:40 発 表 ② **箱根登山電車 失われた鉄道の早期復活プロジェクト**  
(20分) **—官民協力による統合的災害復旧—**  
清水建設(株) 土木東京支店 土木第一部 工事長 額見 吉員

「令和元年東日本台風」と命名された台風19号は、2019年10月12日 東日本全域、特に箱根において猛威を奮った。観光地箱根における箱根登山電車も甚大な被害を受けた。周辺住民はもちろんのこと通学に利用する学生や観光に携わる人達にとってはなくてはならない交通の足でもあった。本工事はこの重要な足を1日も早く復旧させるため、官民の関係者が協力し、異例の285日間という短期間で運転再開を実現した復活プロジェクトである。

15:40～16:00 発 表 ③ **東日本大震災の教訓を次世代に！ —伝承したい初期対応について—**  
(20分) 鹿島建設(株) 東北支店 管理部 秘書・企画グループ グループ長 高橋 智也

東日本大震災当時の資料を再度整理し、我々ゼネコンがレジリエンスな組織として自然災害発生時に的確に対応できるための情報を記載した。特に初期対応に特化し、資機材確保、労務調達、衛生面の確保などについて実際の対応から学び、伝承したいことをまとめたものである。

16:00～16:05 閉会挨拶 副部会長 (株)竹中工務店 神戸支店 支店長付 安全環境担当 田邊 徹次



# 会場での受付方法のご案内

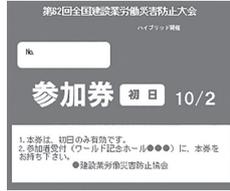
## 初日受付

10時30分～ ワールド記念ホール  
(2階 参加者受付)

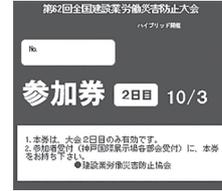
## 2日目受付

8時30分～ 神戸国際展示場1・2号館  
(部会毎の会場入口前)

**STEP1** 初日参加券を「参加者受付」に提出してください。



2日目参加券を部会の「参加者受付」に提出してリストバンドを受け取ってください。

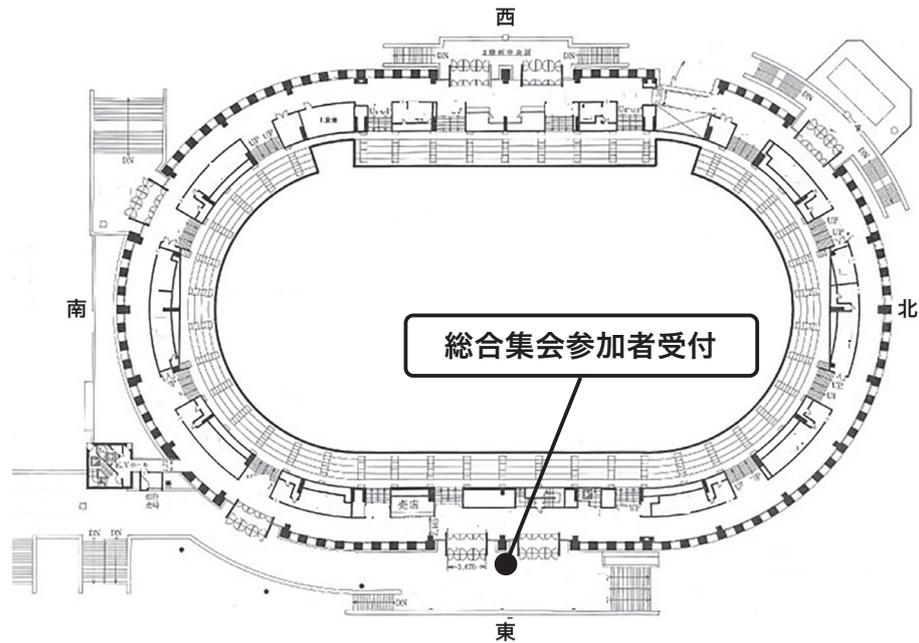


(※イラストはイメージです。)

**STEP2** 総合集会プログラム等が入ったクリアファイルを受け取ってください。

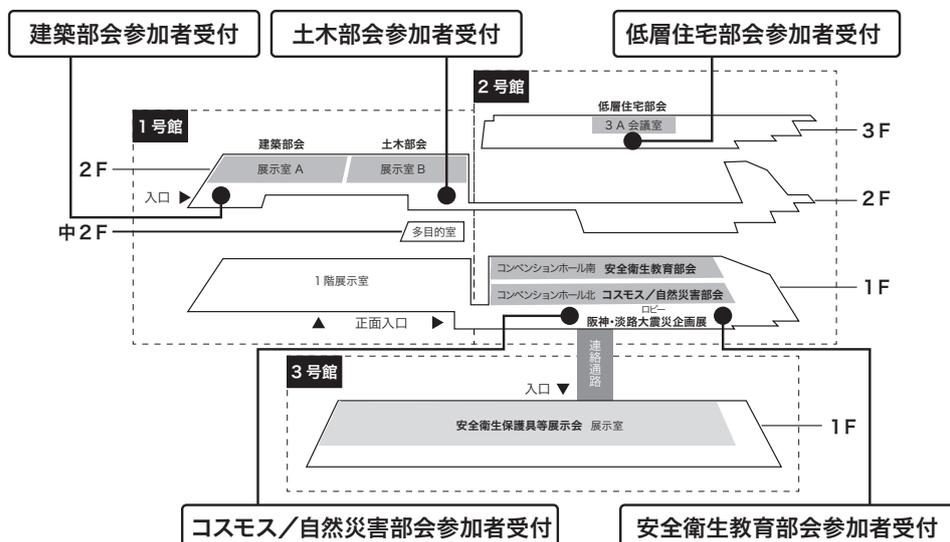
### 初日受付場所

ワールド記念ホール  
2階



### 2日目受付場所

神戸国際展示場  
1・2号館



## 2日目 専門部会アンケートのお願い

下記のQRコードより、アンケートのご協力をお願いいたします。

アンケートにお答えいただいた方は、部会の受付でスタッフに画面を提示ください。数量限定にて記念品を差し上げます。



ポケットラジオ

アンケート  
QRコード▶▶▶



## 大会初日・2日目 キッチンカー出店のご案内

ワールド記念ホール、神戸国際展示場周辺はレストラン等が少ないため、10月2日(木)・3日(金)の両日、**神戸国際展示場3号館 駐車場スペース**に、キッチンカーを出店します。

なお、初日[2日(木)]は、キッチンカー周辺及び、ワールド記念ホール内で飲食可能です。2日目[3日(金)]は、キッチンカー周辺及び、神戸国際展示場1・2号館の各会場内で飲食可能です。

また、食べ終わった後のゴミは、キッチンカー等のゴミ箱へ入れてください。ご協力をお願いいたします。

## オンデマンド配信

今までは見る事が出来なかった同じ時間帯の研究発表をいつでも何度でもご視聴いただけます。

**配信内容: 総合集会プログラム・専門部会プログラム**

**配信期間: 10月6日(月)～**

- 1 オンデマンド配信を視聴するには、「ID」、「パスワード」が必要です。
- 2 「ID」、「パスワード」は、参加券に記載しております。
- 3 総合集会は録画しました映像、専門部会は事前に発表者等からご提出いただいた発表データとなります。
- 4 現地での専門部会に参加された方は、継続学習制度(CPDS)のユニットを取得できますが、オンデマンド配信参加ではCPDSのユニットは付与されません。

# 粉じんにも花粉にも

カラーレンズ登場!



レンズ：イエロー



レンズ：スモーク

保護めがね  
RC-170 シリーズ

曇りに  
強い



レンズ：クリア

株式会社 理研オプテック TEL:03-3474-8601

<https://rikenoptech.com>



電子カタログ



YouTube



Instagram



SIMON\_CORPORATION



働く方々の手と足を守る、安全と信頼のシモン

やっぱりこれだ  
**溶接**で人気の  
1005シリーズ

溶接作業に適した3つの特長

- 1 溶接面と好相性のデザイン
- 2 負担の少ない軽量設計
- 3 オゾン臭の除去にKBCフィルタ併用可能



指定防護係数10

溶接のベーシックモデル  
防じんマスク

1005RR



指定防護係数14

溶接で多くの実績がある  
電動ファン付き呼吸用保護具

BL-1005



指定防護係数33

溶接向け電動ファン付き  
呼吸用保護具の上位モデル

BL-7005

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

興研株式会社

〒102-8459 東京都千代田区四番町7  
TEL.03-5276-1911 (大代表)



「タフライト・フルハーネス」  
最軽量モデル ST#522KA-N

# 軽すぎる

超高分子量ポリエチレン繊維「ダイニーマ®」採用  
最軽量<sup>※1</sup>フルハーネス

強度そのまま  
重さ約44%減<sup>※2</sup>!

# 550g

<sup>※1</sup> タニザワ史上最軽量 (2023年11月現在)  
<sup>※2</sup> ST#572A-N (980g) との比較



詳しい製品情報は  
当社 HP 特設サイトへ



株式会社 谷沢製作所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-15-5 RBM 築地ビル

TEL : 03-3552-5581 FAX : 03-3552-5576 E-mail : eigo@tanizawa.co.jp www.tanizawa.co.jp

特許出願中



# 携帯型ヘルメット

フラットメット

# Flatmet 3

NEW

- 墜落時保護用の規格に適合したモデルで、携帯型としては最軽量クラス※の約385g
- 現場作業、高所作業、防災備蓄や来客用など、幅広い用途に対応
- 収納時は高さが約半分に変形、省スペースでの保管・携行が可能

保護帽の国家検定規格  
飛来・落下物用 / 墜落時保護用

使用時 収納時

**M** ミドリ安全株式会社  
本社 / 東京都渋谷区広尾5-4-3 〒150-8455  
電話 / 03-3442-1641 (ヘルメット営業部)



※当社調べ

**YK YAMAMOTO**



## 安全をつくる 快適でささえる

Comfortable safety

1911年の創業以来、100年以上にわたり「YAMAMOTO」に受け継がれてきたのは、働く人々の「安全と健康」を護るという使命。「安全」は「快適」という次のステージへ。地道で小さな一歩を積み重ねることが、次の100年への近道。快適創造企業の実現を目指して、YAMAMOTOは歩み続けます。

**山本光学株式会社**  
セフティ&レーザー・オプト事業部  
本社 / 06-6783-1101 東京支店 / 03-3868-5503



120th ANNIVERSARY SINCE 1911

**EASY Harness CROSS** フルハーネス型 墜落制止用器具

**GOOD DESIGN AWARD 2024年度受賞**

使いやすいと、安全性がクロスする

使用可能な質量 **130kg** 以下

Special site



数々の特長をご確認いただけます。

CRH-10C型

ロック装置付き 巻取式 タイプ1 ランヤード

**国内最軽量クラス**

SANKO INDUSTRIES CO. LTD. **TITAN**  
「墜落制止用器具の規格」適合

シングル 約700g

ダブル 約1,280g

使用可能な質量 **130kg** 以下

Special site



HL-HS-130型 HL-HW-130型

フルハーネス型 / 胴ベルト型 兼用 **REELock mini**

**サンコー株式会社** <https://www.sanko-titan.co.jp> 本社・本社工場 〒532-0035 大阪府大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06-6394-3541

**シゲマツ** 創業1917年

# 革新的な視界を確保したゴグル

保護めがね (ゴグル形)

ベンチレーター (換気口) なし!

# LX-92

適合規格 JIS T 8147:2016 「保護めがね」

フレーム X型のフレームが柔軟に動くので 色々な顔の形状にフィット

視力矯正めがねと併用可 視力矯正めがねのテンプル (つる)を通すスペースを確保

動画公開中



上下・左右が見渡せる大きなアイピース

**株式会社 重松製作所** SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.  
[www.sts-japan.com](http://www.sts-japan.com)

本社 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1  
TEL 03(6903)7525 (代表)